

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	今までより以上に一人一人の思いや暮らしに目を向け、チームで現状に即した介護計画の作成と実施、モニタリングを行う	BPSDプログラムを職員全員が理解し、表面に見えている言動でなくその奥に潜んでいるものを知り、アプローチしていきけるように力をつけて認知症ケアに取り組みます。一つの考えにとらわれず、少数の意見も大切にしていきます。	①表面に見えている言動の奥に潜んでいるものを知るように努める。 ②チームで意見交換 ③アプローチして結果がどうか評価する。 ④認知症ケアを極めていく	12ヶ月
2	13	BCPをすべての職員が理解して、それに沿った動きが出来る	災害が起こった時に十分生かせるように日頃から周知して、役割に応じた動きが出来る事を念頭に訓練を積み重ねる。	①BCPにそって訓練を実施していく ②地域の方も巻き込んでの防災訓練の実施	12ヶ月
3	12	看取りの経験が少ない。今後も本人や家族様の希望を聞き入れ、検討しながら出来る限りニーズにこたえていけるようにする	介護の質の向上 看取りが、自然な成り行きととらえながら、日々の生活の充実を図る。(入居者・家族)	①看取りに関する勉強会の実施 ②入居者本人家族、家族関係者などの十分な話し合いを持つ ③家族・主治医・多職種との連携	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。